

# LOCATION BOOK

*Neima Takanodai*



都立石神井公園(徒歩15分・約1,180m)

[事業主(先主)]

人と地球がよるこぶ住まい  
サンヨーホームズ

[販売提携(代理)]

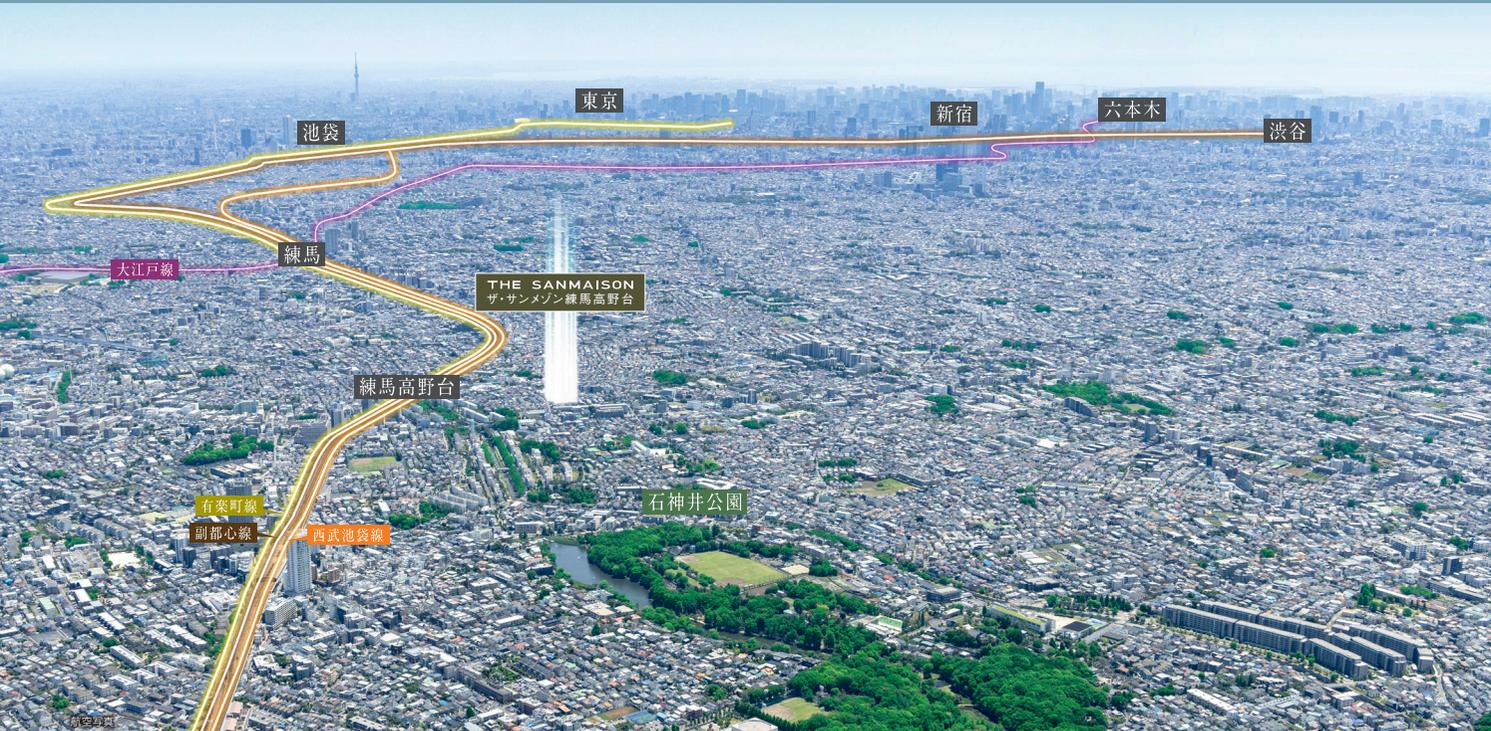
大和地所レジデンス

THE SANMAISON

ザ・サンメゾン練馬高野台

※掲載の環境写真は2024年7月に撮影したものです。※距離表示については地図上の概測を、徒歩分数については80mを1分として算出し、小数を切り上げております。

西武池袋線、東京メトロ副都心線・有楽町線の3路線利用で、都心の要所へ自由自在にアクセス。



池袋へ17分。副都心線・有楽町線で新宿、渋谷、有楽町方面も移動しやすく、練馬から大江戸線利用で六本木への移動も。



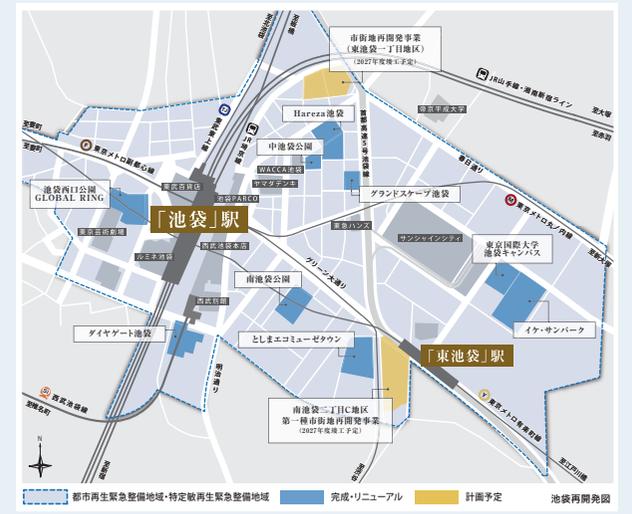
※「練馬」駅：「練馬高野台」駅より西武池袋線利用※「池袋」駅：「練馬高野台」駅より西武池袋線利用、「練馬」駅で西武池袋線準急に乗り換え※「新宿三丁目」駅：「練馬高野台」駅より西武池袋線利用※「新宿」駅：「練馬高野台」駅より西武池袋線利用、「池袋」駅でJR埼京線に乗り換え※「渋谷」駅：「練馬高野台」駅より西武池袋線利用、「練馬」駅で西武池袋線準急に乗り換え※「六本木」駅：「練馬高野台」駅より西武池袋線利用、「練馬」駅で東武大江戸線に乗り換え※「東京」駅：「練馬高野台」駅より西武池袋線利用、「池袋」駅で東武大江戸線に乗り換え※「有楽町」駅：「練馬高野台」駅より西武池袋線利用

進化を続ける池袋も日常使い。再開発が続く華やきの舞台。

百貨店を含め多彩な商業施設が揃う池袋。相次ぐ大規模再開発により、商業、エンターテインメント、自然、アートがさらに充実。今後、西口の大規模再開発等も控え、楽しみが尽きません。



※掲載の航空写真は2024年6月に撮影したものに一部CG加工を施したもので、実際とは異なります。光の柱は物件の位置を表すものであり、建物の高さ・規模を表すものではありません。※掲載の電車所要時間は通勤時のもので、時間帯により異なります。乗り換え・待ち時間を含みます。通勤時は7:00~9:00に目的地に到着する電車を表記しています。(※YAHOO!路線情報2024年5月版調べ)※掲載の池袋再開発は一部道路・施設等を抜粋して表記しています。※掲載の情報は2024年8月現在のものです。※距離表示については地図上の概測を、徒歩分については80mを1分として算出し、端数を切り上げております。



# 区内有数の桜の名所、豊かな自然に満たされる石神井公園。



石神井池

都立石神井公園(徒歩15分・約1,180m)

開園面積約22万㎡(東京ドーム約4.8個分)。三宝寺池と石神井池を中心に、古き良き武蔵野の自然を豊かに残す石神井公園。春はソメイヨシノやヤマザクラが園内を染める桜の名所でもあります。広場や庭園、野球場等の施設が整備され、多彩なひとときを満喫できます。

## Park Data

### 開園年月日

昭和34年3月11日

### 開園面積

226,232.99㎡、  
(東京ドーム建築面積:46,755㎡)

### 園内施設

さくら広場、くぬぎ広場、アスレチック広場、  
けやき広場、おべんと広場、  
くつろぎ広場、ふくろう広場、  
野球場、小野球場、テニスコート、  
野外ステージ、ボート乗り場、  
石神井城跡、水辺観察園、記念庭園、  
三宝寺池、浮島沼沢植物群落、野鳥誘致林、  
ひょうたん池、石神井池、厳島神社



航空写真



アスレチック広場



ボート乗り場



厳島神社



記念庭園



石神井池



野外ステージ

## 石神井公園MAP



※掲載の航空写真は2024年6月に撮影したものに一部CG加工を施したもので、実際とは異なります。※掲載の環境写真は2024年7月に撮影したものです。※掲載の情報は2024年10月現在のものです。※距離表示については地図上の概測、徒歩分數については80mを1分として算出し、端数を切り上げております。

# 練馬区の子育て環境が、家族の笑顔を支える。

## 23区から見た練馬区の生活環境のランキング

認可保育所数 <sup>※1</sup>		幼稚園数 <sup>※2</sup>		学童クラブ数 <sup>※3</sup>	
RANKING 第2位		RANKING 第4位		RANKING 第2位	
1位	世田谷区 [215施設]	1位	世田谷区 [62施設]	1位	足立区 [109施設]
2位	練馬区 [201施設]	2位	足立区 [51施設]	2位	練馬区 [99施設]
3位	大田区 [192施設]	3位	大田区 [47施設]	3位	葛飾区 [93施設]
4位	杉並区 [187施設]	4位	練馬区 [43施設]	4位	北区 [88施設]
5位	江東区 [181施設]	5位	杉並区 [42施設]	5位	太田区 [85施設]
小・中・高等学校合計数 <sup>※4</sup>		小児科数 <sup>※5</sup>		犯罪発生率 <sup>※6</sup>	
RANKING 第2位		RANKING 第4位		RANKING 第4位	
1位	世田谷区 [160施設]	1位	世田谷区 [189施設]	1位	杉並区 [0.29%]
2位	練馬区 [120施設]	2位	太田区 [139施設]	2位	世田谷区 [0.31%]
3位	足立区 [115施設]	2位	足立区 [139施設]	3位	文京区 [0.32%]
4位	江戸川区 [111施設]	4位	練馬区 [137施設]	4位	練馬区 [0.33%]
5位	太田区 [105施設]	5位	江戸川区 [130施設]	4位	目黒区 [0.33%]

※1 出典/東京都福祉計画HPをもとに作成しています。社会福祉施設等一覧 令和6年5月1日時点より  
 ※2 出典/東京都福祉計画HPをもとに作成しています。令和6年度学校基本統計速報(学校基本調査の結果速報)より  
 ※3 出典/東京都福祉計画HPをもとに作成しています。学童クラブ事業の市区町村別実施状況(令和5年10月1日現在)より  
 ※4 出典/東京都福祉計画HPをもとに作成しています。令和6年度学校基本統計速報(学校基本調査の結果速報)より  
 ※5 出典/東京都保健医療計画HPをもとに作成しています。一級診療所数、診療科目(種別計上) 区市町村別(2022年10月1日現在)より  
 ※6 出典/警視庁HP区市町村の町丁別、警察別及び手口別認知件数(令和6年1月~8月累計)をもとに、各行政区HPより2024年8月時点の人口から算出

## 共働き世帯の生活を支える 待機児童数ゼロを、4年連続で達成。

練馬区は2021年~2024年において、4年連続で待機児童数ゼロを達成。これまで、全国初となる区独自の幼保一元化施設である「練馬こども園」の創設や、認可保育所等の新設に取り組み、この10年間で全国トップクラスとなる約9,200人の児童定員増を実現してきた。



※出典/練馬区プレスリリースより(2024年4月24日)単位:人

## 区内在住の高校生年代までを対象に 子ども医療費助成制度を実施。

小学校就学前の乳幼児には「マル乳医療証」を、小学校1年生から中学校3年生までの児童には「マル子医療証」を発行。また、中学校卒業後から高校生年代までは「マル青医療証」を発行します。これらの医療証を取得した子どもを対象に、健康保険適用の医療費の自己負担分、入院時食事療養費標準負担額(入院時の食事代)、小児慢性疾患・養育医療・育成医療等の医療費助成を受けた場合の自己負担限度額についての医療費を助成します。



※マル乳・マル子・マル青医療証で助成を受けられるのは、保険診療の範囲内で自己負担する分です。保険診療外の健康診断料・予防接種・宿衛代・文書代・差額ベッド代・選定療養費等は、対象となりません。※保険適用の自己負担分については高額療養費・家族療養費加付金等に該当する場合は、その額を除いた額となります。

## 練馬区の子ども・子育て支援制度の一例

出産育児一時金の支給		
<b>妊婦健康診査費用助成</b>	<b>出産育児一時金の支給</b>	<b>育児支援ヘルパー</b>
母子健康手帳交付時にお渡しする「母と子の健康バッグ」に妊婦健康診査受診票(妊婦健康診査受診票14回分、妊婦超音波検査受診票4回分、妊婦子宮頸がん検診受診票1回分)が入っています。受診票を医療機関に提出することで、妊婦健康診査費用の一部助成を受けられます。	国民健康保険に加入している方が出産したとき、お子様1人あたり50万円の支給。※令和5年3月31日までの出産は42万円になります。	産前産後の体調不良等により、家事支援を必要とするご家庭に、ヘルパーを派遣します。依頼できる内容は、日常的な食事の支度、衣類の洗濯、居室の掃除、食材・生活必需品の買い物、赤ちゃんの沐浴の補助および健康診断等の付き添い等です。
子育て		
<b>児童手当</b>	<b>第3子誕生祝金</b>	<b>特別児童扶養手当</b>
日本国内に居住しており、高校生(18歳年度末)までのお子様を養育している保護者を対象に、月額30,000円を支給。※偶数月の年6回支給(2ヶ月分ずつ)。	子育て家庭を応援し、児童の健全な育成を図るため、3番目以降に出生したお子様に第3子誕生祝金を10万円支給します。対象となる方のご申請は、3番目以降のお子様が生じた後に受け付けます。※令和3年3月31日以前に出生した児童は、1人につき20万円	身体障害、知的障害、精神障害、重複障害のある20歳未満の児童を養育している保護者を対象に、月額36,860円(特児2級)・55,350円(特児1級)を支給。
<b>一時預かり</b>	<b>子どもショートステイ(短期入所)</b>	<b>養育支援訪問事業</b>
保護者の育児疲れ解消、急病や出産など様々な理由で一時的にお子様を預けたいときに、保育園の専用保育室等でお預かりする制度です。	ご家庭においてお子様の養育が一時的に困難となり、他に養育のできる方がいないときに施設等でお預かりする一時保育事業です。	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。

※出典:練馬区ホームページ

## 子育てがしやすくなるための取り組み



### 練馬こどもカフェ

区内のカフェ等で、お子さんと一緒に参加して、遊んだり、保護者同士が交流したり、リラックスできる場を提供します。地域の幼稚園教諭や保育園の保育士、栄養士、看護師などに、気軽に育児に関する相談もできます。保護者同士の交流や、情報交換の場所としてもご利用ください。



### 練馬こども園

区独自の幼保一元化施設として、通年(夏・冬・春休みも含む)で9時間~11時間の預かり保育を実施する私立幼稚園(認定こども園を含む)を「練馬こども園」として認定しています。令和元年度からは、新たに9時間以上の預かり保育や、3歳未満児を対象とした預かり保育を実施する園も練馬こども園として認定しています。



### ファミリーサポート(育児支えあい)

練馬区民で、生後58日から小学6年生までの児童の保護者を対象として、仕事や外出などでお子さんを預かって欲しいときに、援助会員が有償でお預かりする会員組織です。ご利用にあたっては利用会員としての登録が必要です。

※出典:練馬区ホームページ

※掲載の情報は2024年10月現在のものです。

